

《担当者名》○浅野雅子 asanom@hoku-iryo-u.ac.jp 依田泰知

【概要】

発達系評価学で習得した知識をもとに発達障害における対象と障害像を理解し、対象疾患におけるプログラム立案から実際の作業療法の流れおよび治療・援助方法について学ぶ。

【学修目標】

【一般目標】

発達障害領域における作業療法について理解を深める。

【行動目標】

1. 発達領域における対象児の障害像および支援方法を説明できる。
2. プログラム立案から作業療法実施の一連の過程について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	発達障害領域における作業療法の基礎	治療・援助方法の概観	依田 泰知 浅野 雅子
2	脳性麻痺1	脳性麻痺児に対する作業療法1	依田 泰知
3	脳性麻痺2	脳性麻痺児に対する作業療法2	依田 泰知
4	脳性麻痺3	脳性麻痺児に対する作業療法3	依田 泰知
5	二分脊椎症	二分脊椎児に対する作業療法	依田 泰知
6	骨関節疾患・小児がん・内部障害	分娩麻痺、小児がん、心疾患等に対する作業療法	依田 泰知
7	新生児（NICU対象児）	新生児（NICU対象児）に対する作業療法	依田 泰知
8	筋ジストロフィー1	筋ジストロフィーの病態像と治療・支援1	依田 泰知
9	筋ジストロフィー2	筋ジストロフィーの病態像と治療・支援2	依田 泰知
10	重症心身障害児1	重症心身障害児の病態像と治療・支援1	依田 泰知
11	重症心身障害児2	重症心身障害児の病態像と治療・支援2	依田 泰知
12	知的障害	知的障害の治療と支援	依田 泰知
13	発達障害1	広汎性発達障害の障害像と治療・支援	依田 泰知
14	発達障害2	ADHD、LDの障害像と治療・支援	依田 泰知
15	発達障害3	その他発達障害の治療と支援	依田 泰知

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

福田恵美子 編集 「標準作業療法学 発達過程作業療法学第2版」 医学書院 2018年

【参考書】

- Eva Bower 原著 「脳性麻痺児の家庭療育第4版」 医歯薬出版 2014年
 長崎重信 監修 「発達障害作業療法学改訂第2版」 メジカルビュー社 2015年
 田村良子 編集 「作業療法全集-発達障害改訂第3版」 協同医書出版社 2010年
 岩崎清隆 著 「発達障害の作業療法【第2版】-基礎編-」 三輪書店 2015年
 岩崎清隆 他 著 「発達障害の作業療法【第2版】-実践編-」 三輪書店 2015年

【学修の準備】

予習は、次回授業範囲の教科書を読んで、理解しておくこと(80分)。復習は、教科書、プリントなどを活用し、学修を深めること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

依田 泰知（作業療法士） 浅野 雅子（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

発達障害領域における医療機関・福祉機関での臨床経験を活かした教育を行う。